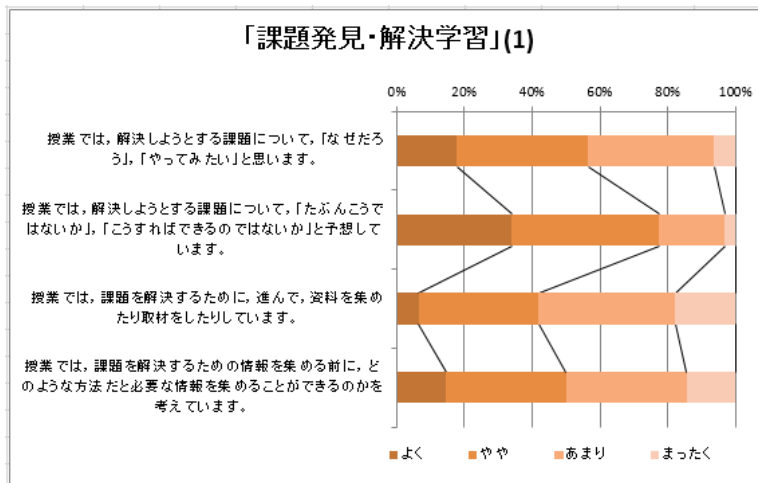


質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：生徒質問紙調査）

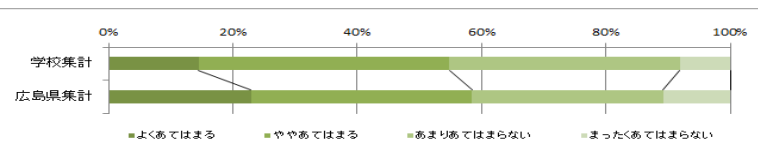
(1) 生活・学習



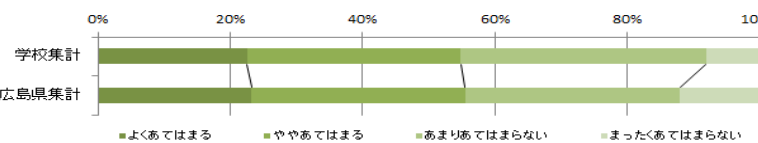
生徒の回答についての課題 (現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
授業で課題解決のために進んで資料を集めている生徒は42.0%である。また、情報を集める方法をあらかじめ考えている生徒は50.0%である。これらのことから、主体的な課題解決を行っている生徒の割合が小さい。	いろいろな教科で課題発見・課題解決学習を展開できるように授業構成の改善を行う。 教師が主導する学習場面では、課題解決に必要な情報やその入手方法を考えさせるよう展開を工夫する。	2	80%	生徒アンケート	1月		

(2) 教科

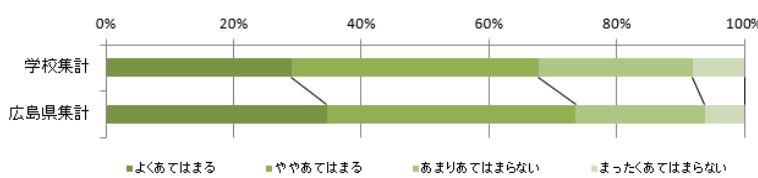
国語の授業では、分からない言葉や漢字は、辞書を使って調べています。



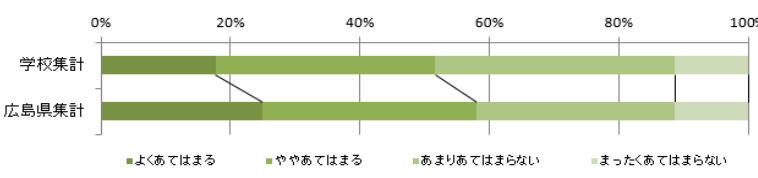
数学の授業では、式が何を表しているのかを考えたり、式に当てはまる問題を作ったりしています。



理科の授業では、観察や実験を行うときは、その目的は何かを意識しています。



英語の授業では、自分の考えや気持ち、事実などを英語で話しています。



	生徒の回答についての課題 (現状値)	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	分からない言葉や漢字があるときに、辞書を使って調べる(根拠を明確にする調べ)の「よくあてはまる」割合が小さい。 (「よく」29.1%)	文中に出てきた言葉や漢字については、国語辞典等の辞書を使って調べさせるよう発問や学習課題を工夫する。また、文章を書かせる際に、よりよい表現になるよう辞書を引かせて推敲させる。	2	「よく」40%	生徒アンケート調査	1月		
数学	式の意味や式を作る学習をしている生徒の割合が小さい。 (「よく」22.6%、「肯定的な回答」54.9%)	式の計算の活用で式の意味を考えたり、方程式の作問学習の場面で生徒が創意工夫しながら立式する活動を数多く仕組んでいく。	2	「肯定的な回答」70%	生徒アンケート調査	1月		
理科	観察や実験の目的を意識している生徒の割合が大きい。 (「まったく当てはまらない」8.1%)	実験の目的や流れをワークシートを使って確認するとともに、班での実験前のミーティングを実施する。	2	「まったく当てはまらない」0%	生徒アンケート調査	1月		
英語	英語の授業で、できるだけ英語を使おうとしている生徒の割合が小さく、英語に対して自信のない生徒が多い。 (「よく」17.7%、「肯定的な回答」51.6%)	教師が英語で話す場面を増やすとともに、学習事項以外について話す場面においても英語を活用するよう発問や指示を工夫する。また、英単語や連語等を習得させるよう家庭学習を工夫する。	2	「肯定的な回答」65%	生徒アンケート調査	1月		

